

奈良県感染症情報

平成30年第26週(6月25日～7月1日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- 気になる話題「夏に注意したい！感染症！」

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	5.21	(5.88)	↘	↘	↘	↗
2	A群溶連菌咽頭炎	2.71	(2.09)	→	→	→	↑
3	ヘルパンギーナ	1.26	(0.76)	↑	↑↑	↑	↘
4	手足口病	0.91	(0.50)	↑	↑↑	↑	↗
5	咽頭結膜熱	0.85	(0.53)	→	↘	↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

夏に流行のピークを迎えるヘルパンギーナと手足口病の報告数が増加しています。ともに患者年齢は、3歳以下で7割以上を占めています。また、両疾患ともウイルス性感染症で、感染経路は飛沫感染と接触感染です。流水と石けんによる手洗い、うがいを行い、感染者との密接な接触は避けましょう。

A群溶連菌咽頭炎は、中和保健所管内西部地域で、定点当たり報告数が6.33と高くなっています。咽頭痛がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。治療には抗生物質が有効です。

夏本番、人混みの中へ出かける機会も多くなるかと思えます。日頃から、基本的な感染症対策(手洗い・うがい)に努めましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

外来患者数は多くは無いが、色んな感染症が出てきています。

感染性胃腸炎はよくみられています。細菌性とウイルス性が半々です。咽頭痛と発熱の溶連菌咽頭炎が増えてきました。4才以上の園児によくみられます。アデノ、ヘルパンギーナ、手足口病など夏かぜも徐々に増えてきました。今年の手足口病の発疹は粟粒大と小さく水疱も目立たない子が多いようです。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は多くない。短期高熱の夏かぜが多い。アデノ様であるがキットで陽性を確認した例は多くない。

嘔吐を主とするノロウイルス様の感染性腸炎が流行、細菌性を疑う例は少なかった。

咳嗽例は減少した。

他に水痘、A群溶血性連鎖球菌、発疹がごくわずかの軽症の手足口病、ヘルパンギーナが見られた。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

夏カゼが増加、特にアデノウイルス感染症が増えている。ヒトメタニューモウイルス感染症の流行も続いている。

ノロウイルス胃腸炎の流行も継続しており、某村では集団感染がみられた。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 第 26 週 6 月 25 日 ~ 1 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	7 (0.21)	3 (0.33)		2 (0.29)	2 (0.33)			
咽頭結膜熱	29 (0.85)	7 (0.78)	1 (0.11)	5 (0.71)	16 (2.67)			
A群溶連菌咽頭炎	92 (2.71)	20 (2.22)	19 (2.11)	5 (0.71)	38 (6.33)	1 (1.00)	9 (4.50)	
感染性胃腸炎	177 (5.21)	31 (3.44)	48 (5.33)	43 (6.14)	44 (7.33)		11 (5.50)	
水痘	8 (0.24)	3 (0.33)	3 (0.33)		2 (0.33)			
手足口病	31 (0.91)	7 (0.78)	9 (1.00)	8 (1.14)	6 (1.00)		1 (0.50)	
伝染性紅斑	10 (0.29)	3 (0.33)	2 (0.22)	4 (0.57)	1 (0.17)			
突発性発しん	20 (0.59)	3 (0.33)	4 (0.44)	4 (0.57)	9 (1.50)			
ヘルパンギーナ	43 (1.26)	7 (0.78)	5 (0.56)	26 (3.71)	4 (0.67)		1 (0.50)	
流行性耳下腺炎	4 (0.12)		4 (0.44)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	7 (0.70)	1 (0.33)		4 (2.00)	2 (1.00)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(郡山1、中和1、内吉野1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(郡山1)
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(奈良市1) 梅毒2件(中和2) 百日咳3件(奈良市2、6歳2件、中和1、6歳)

❖ 第26週のトピックス ❖

◆動物由来感染症

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index.html

◆感染症危機管理専門家(IDES)養成プログラム

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/ides/index.htm

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

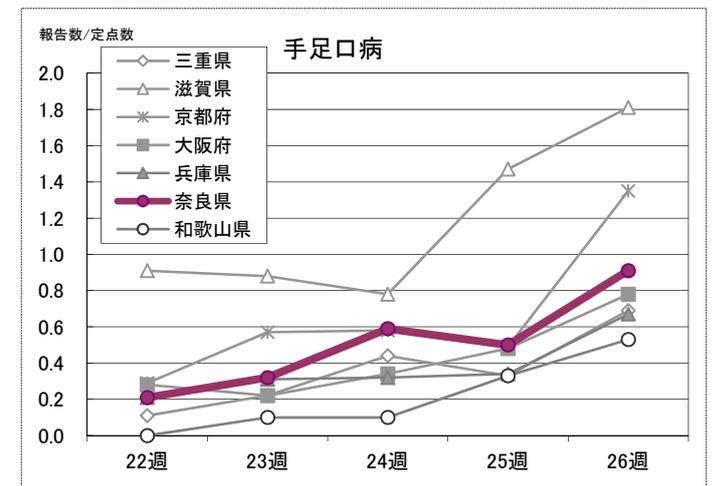
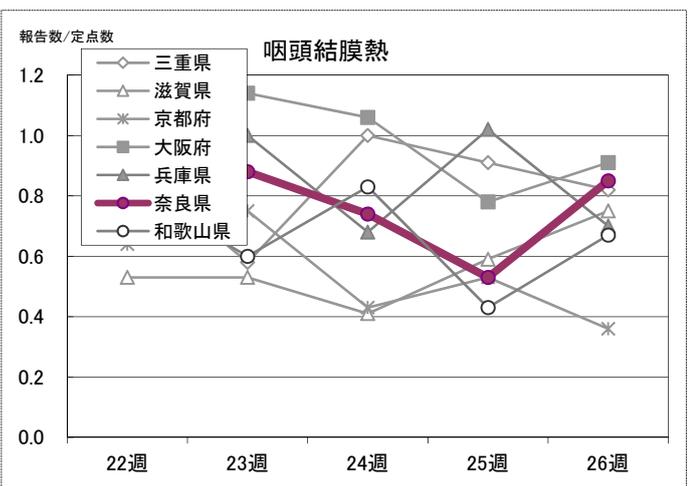
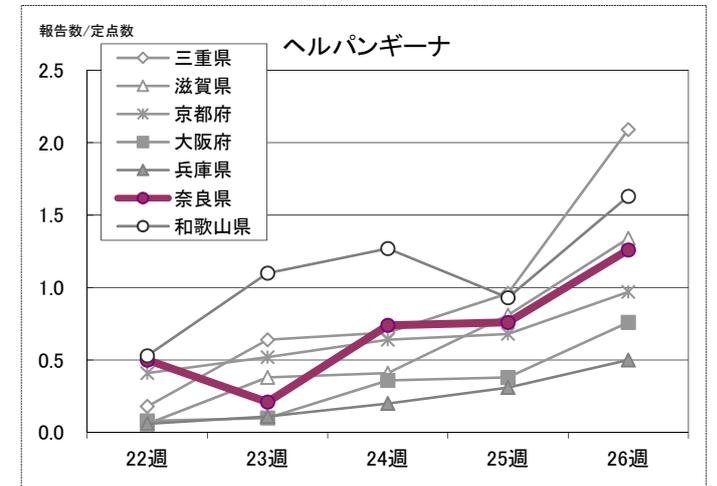
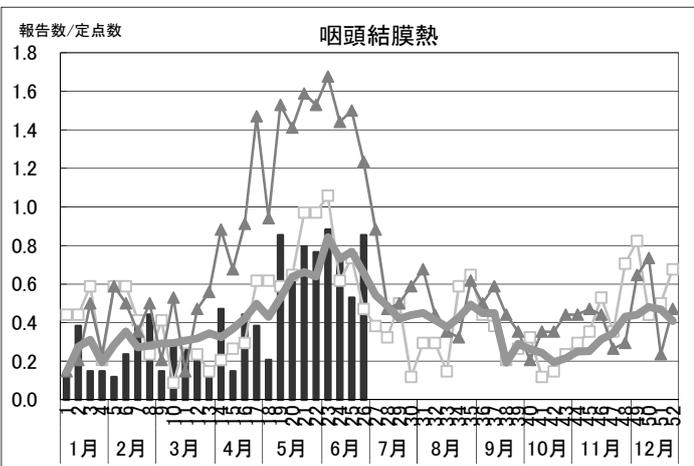
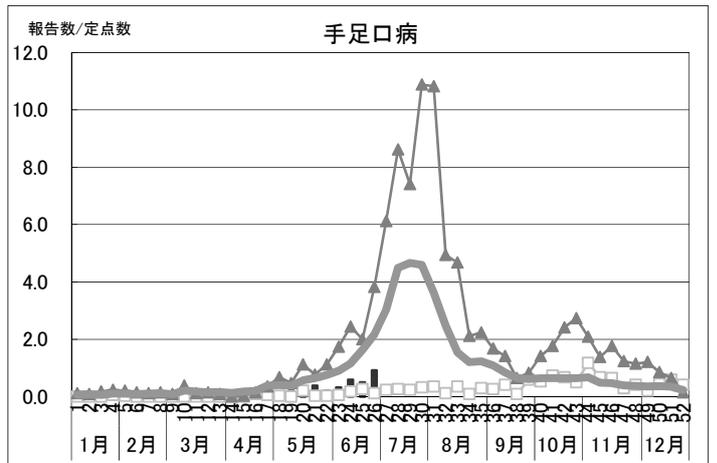
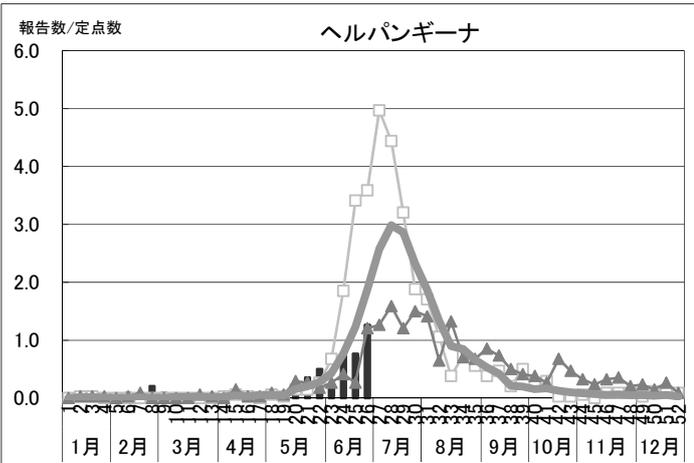
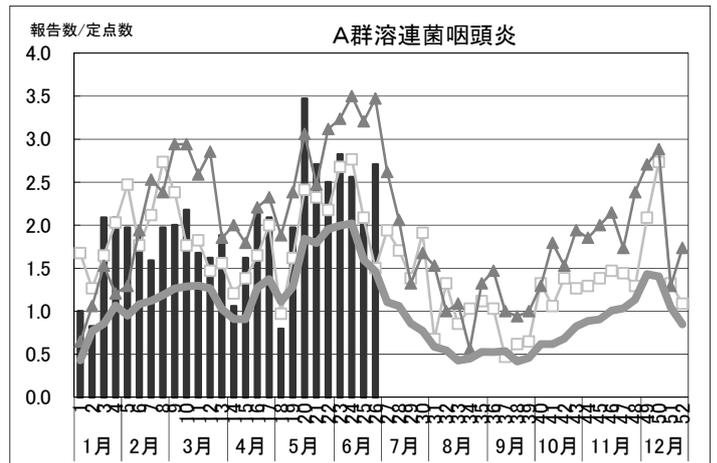
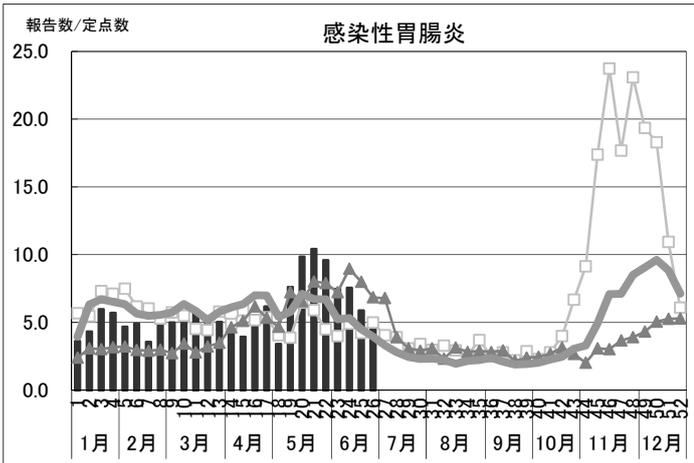
上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	年齢																		合計	累計								
		0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69			70-79	80-						
インフルエンザ	男																									7841			
	女																										7810		
RSウイルス感染症	男			1	3		1																			6	141		
	女					1																					1	118	
咽頭結膜熱	男				2	5	4	1																			13	191	
	女		1	2	7	1	2																				16	175	
A群溶連菌咽頭炎	男			1	5	6	7	10	7	4	1	1	4	2													48	918	
	女			1	3	7	4	5	9	4	4	3	1	1													44	826	
感染性胃腸炎	男			11	7	12	12	12	8	4	4	4	3	9	2	5											93	2771	
	女			6	10	9	7	10	5	5	3	4		8	2	15											84	2417	
水痘	男					2			1	1																	4	122	
	女							2						1	1												4	139	
手足口病	男				3	3	2	3	1	1																	13	81	
	女				7	5	2				1	2	1														18	86	
伝染性紅斑	男				1	1	2		1	1	1																7	65	
	女				1	1				1																	3	71	
突発性発しん	男			4	5	1																					10	192	
	女		1	3	6																						10	164	
ヘルパンギーナ	男			5	6	6	6	1	1	1																	26	94	
	女			1	5	4	2	2	1	1		1															17	64	
流行性耳下腺炎	男								1																		1	26	
	女									1	1			1													3	25	
急性出血性結膜炎	男																												1
	女																												
流行性角結膜炎	男																	2	1	1	2						6	41	
	女																	1									1	44	
細菌性髄膜炎	男																											4	
	女																											6	
無菌性髄膜炎	男																											3	
	女																											1	
マイコプラズマ肺炎	男																											9	
	女					1																					1	10	
クラミジア肺炎	男																												
	女																												
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																											32	
	女																											22	

◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〰 過去10年平均



夏に注意したい！感染症！

「夏かせ」と呼ばれる中には、この時期に流行するウイルス感染症があります。
代表的な夏かせである、咽頭結膜熱・ヘルパンギーナ・手足口病について紹介します。

咽頭結膜熱(プール熱) 原因ウイルス：アデノウイルス(多くは3型、他に4型、7型、2型など)
感染経路：患者の鼻水、目やに、便などに排泄されるウイルスにより感染します。(飛沫感染・接触感染)
プールの水から結膜へウイルスが直接侵入したり、タオルの共用により感染したりすることもあるので、プール熱と呼ばれることもあります。

潜伏期間：5～7日

症状：発熱(38～39度)、のどの痛み、結膜炎などです。高熱が比較的長く(5日前後)続くことがあります。

対策：流水とせっけんによる手洗い、うがいをしましょう。

感染者との密接な接触は避けましょう。

プールからあがったときは、シャワーを浴び、うがいをしましょう。



手足口病 原因ウイルス：主にコクサッキーウイルスA群(16型、6型)、エンテロウイルス71など
感染経路：患者の咽頭、便、水疱内容物などから排泄されるウイルスにより感染します。
(飛沫感染・接触感染)

潜伏期間：3～5日

症状：口の中や、手足などに水疱性の発疹が出ます。

近年、コクサッキーウイルスA群6型による手足口病では、水疱がこれまでより大きい症例、38度以上の熱が出る症例、症状が消失して一ヶ月以内に手足の爪の脱落が起こる症例などが報告されています。

対策：流水とせっけんによる手洗い、うがいをしましょう。

治った後でも、2～4週間、便からウイルスが排泄されることがあります。また、感染しても発病はせず、ウイルスを排泄している場合があります。特におむつを交換する時には排泄物を適切に処理し、しっかりと手洗いをしてください。

ヘルパンギーナ 原因ウイルス：コクサッキーウイルスA群(4型、6型、10型など)

感染経路：患者の咽頭、便から排出されるウイルスにより感染します。(飛沫感染・接触感染)

潜伏期間：2～4日後

症状：突然の発熱に続いて咽頭痛が出現します。のどは赤く腫れ、小さな水疱ができます。水疱は破れて、潰瘍(かいよう)となり痛みを伴うこともあります。

高熱により熱性けいれんを引き起こすこともあります。

乳幼児は口腔内の痛みから、水も飲めなくなり脱水症状を呈することもあります。十分注意してあげてください。

対策：手洗いをこまめに、しっかり行いましょう。

便中へのウイルス排泄は、発症から2～4週間後頃まで続くとされています。おむつの交換後の手洗いを忘れず行って下さい。咳やくしゃみが出る場合には、マスクをつけるよう心がけましょう。



**手洗い・うがいを徹底しましょう
タオル・おもちゃ・食器等の共用を避けましょう**



(感染症情報センター)